

2016年度第1四半期決算説明会



2016年7月29日

---

# 1. 2016年度第1四半期決算実績概要

---

## ポイント 減収減益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

<b>売上高</b>	▲1,116	-	都市ガス	(▲915:原料費調整に伴う単価減等▲954、数量増+37)
		-	エネルギー関連	(▲211:LNG販売▲91(原油価格下落による販売単価減)、器具▲54(ガスター連結除外影響等)、エンジニアリングソリューション▲50(工事量減等))
<b>営業費用</b>	+642	+	都市ガス原材料費等	(+628:フレーム影響等による単価減+640、数量増▲12)
<b>営業利益</b>	▲474	-	都市ガス	(▲375:ガス粗利▲290(うちスライド差▲301)、固定費増他▲88億円)
		-	エネルギー関連	(▲42:LNG販売▲30(うちスライド差▲30)、器具▲15億円)
		-	電力	(▲30:小売販売経費、減価償却費増等による利益減)
<b>特別損益</b>	+29	+	投資有価証券売却益	+29 (当期29←前期0)

(単位: 億円)

	2016年度1Q	2015年度1Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	3,604	3,538	+66	+1.8%
売上高	3,757	4,873	▲1,116	▲22.9%
営業費用	3,286	3,928	▲642	▲16.3%
営業利益	471	945	▲474	▲50.2%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	477	950	▲473	▲49.7%
経常利益…①	472	933	▲461	▲49.5%
特別損益	29	0	+29	-
親会社株主に帰属する当期純利益	391	734	▲343	▲46.6%

気温影響…②	▲49	▲54	+5	—
スライドタイムラグ(都市ガス+LNG販売)…③	161	492	▲331	—
年金数理差異償却額…④	▲60	▲5	▲55	—
補正経常利益①-(②+③+④)	420	500	▲80	▲16.0%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
16年度1Q	108.16	41.09	17.3
15年度1Q	121.43<▲13.27>	59.59<▲18.50>	17.6<▲0.3>

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
		年金分	一時金分	
15年度	2.92%	0.236%	0.000%	2,810
14年度	5.57%	0.829%	0.358%	2,810

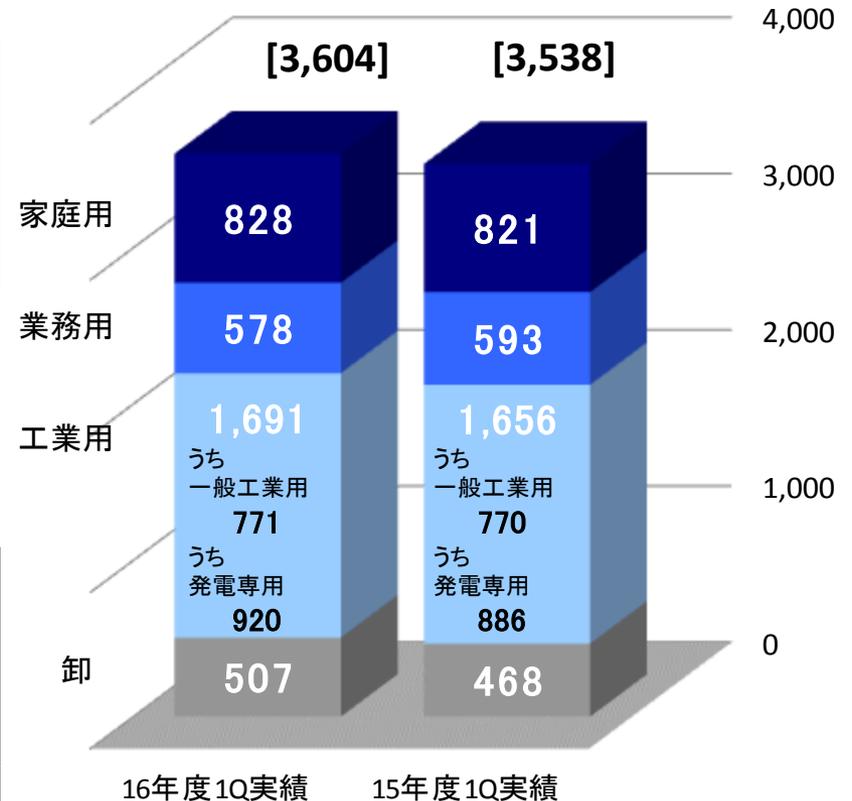
<>内は、対前年度増減

期待運用収益率:2%

**+66百万m<sup>3</sup> (+1.8%)の増加**  
 [うち気温影響+4百万m<sup>3</sup>、+0.1%の増加]

ガス販売量：  
 (百万m<sup>3</sup>以下四捨五入) 百万m<sup>3</sup>

<p>■ <b>家庭用</b> +7百万m<sup>3</sup> (+0.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 +6百万m<sup>3</sup></li> <li>● 日数影響 +11百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 +14百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 ▲24百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>業務用</b> ▲15百万m<sup>3</sup> (▲2.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲1百万m<sup>3</sup></li> <li>● 日数影響 +4百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 +6百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 ▲24百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>工業用</b> +35百万m<sup>3</sup> (+2.1%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般工業用: +1百万m<sup>3</sup></li> <li>● 発電専用: +34百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>卸</b> +39百万m<sup>3</sup> (+8.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲1百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 +40百万m<sup>3</sup></li> </ul> <p>卸供給事業者需要増等</p>



お客さま件数(万件)

2016年度1Q実績	2015年度1Q実績	増減
1,141.8	1,128.5	+13.3 (+1.2%)

	2016年度1Q	2015年度1Q	増減
LNG液販売量(千t)	273	258	+15
平均気温(°C)	17.3	17.6	▲0.3

## ■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	16年度1Q 実績	15年度1Q 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	3,604	3,538	+66 +1.8%
トーリングによる ガス使用量	431	353	+78 +22.1%
LNG販売量(m3換算)	342	323	+19 +5.9%
合計	4,376	4,214	+162 +3.9%

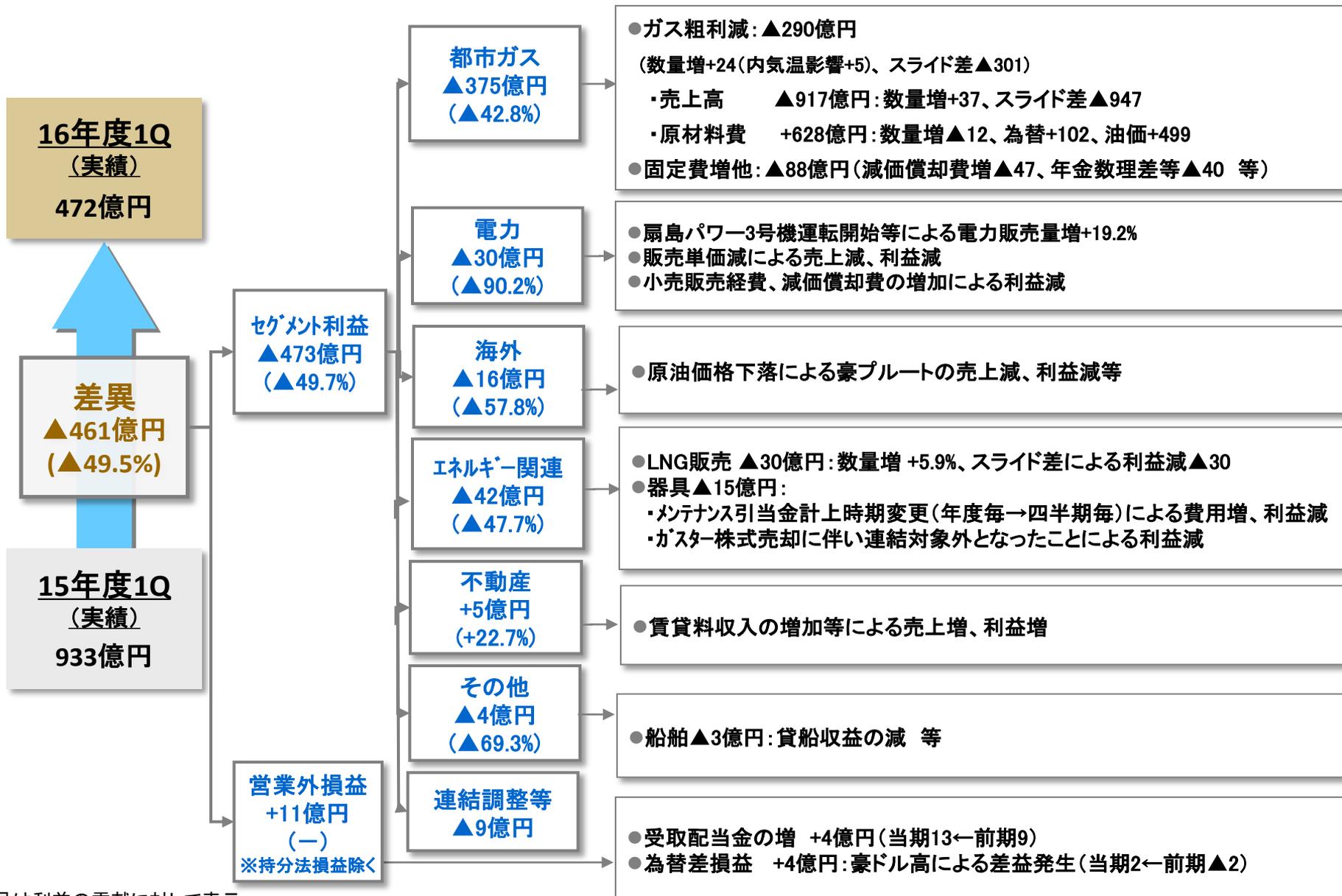
# 2016年度1Q実績 セグメント別売上高・セグメント利益<対前年同期実績>

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
	2016年度1Q	2015年度1Q	増減	%	2016年度1Q	2015年度1Q	増減	%
都市ガス	2,568	3,483	▲915	▲26.3	501	876	▲375	▲42.8
電力	273	296	▲23	▲7.8	3	33	▲30	▲90.2
海外	73	85	▲12	▲14.0	12	28	▲16	▲57.8
エネルギー関連	1,007	1,218	▲211	▲17.3	46	88	▲42	▲47.7
(エンジニアリングソリューション)	238	288	▲50	▲17.5	3	3	▲0	▲2.0
(LNG販売)	231	322	▲91	▲28.1	40	70	▲30	▲43.3
不動産	100	97	3	3.5	22	17	5	22.7
その他	188	172	16	9.1	2	6	▲4	▲69.3
調整額	▲454	▲479	25	—	▲109	▲100	▲9	—
セグメント合計	3,757	4,873	▲1,116	▲22.9	477	950	▲473	▲49.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

# 2016年度1Q実績 経常利益分析 <対前年同期実績>



※符号は利益の貢献に対して表示

---

## 2. 2016年度 通期見通し

---



# 2016年度見通し 連結ガス販売量

## 今回見通し(対当初計画)

**▲42百万m<sup>3</sup> (▲0.3%)の減少**

[うち気温影響▲75百万m<sup>3</sup>, ▲0.5%の減少]

<b>■ 家庭用</b>	▲75百万m <sup>3</sup> (▲2.1%)
● 気温要因	▲64百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲2百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	0百万m <sup>3</sup>
● その他	▲9百万m <sup>3</sup>

<b>■ 業務用</b>	▲17百万m <sup>3</sup> (▲0.6%)
● 気温要因	▲6百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	0百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+1百万m <sup>3</sup>
● その他	▲12百万m <sup>3</sup>

<b>■ 工業用</b>	+44百万m <sup>3</sup> (+0.6%)
● 一般工業用:	▲12百万m <sup>3</sup>
● 発電専用:	+56百万m <sup>3</sup>

<b>■ 卸</b>	+6百万m <sup>3</sup> (+0.3%)
● 気温要因	▲6百万m <sup>3</sup>
● その他	+12百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要増等	

## 今回見通し(対前年度実績)

**+120百万m<sup>3</sup> (+0.8%)の増加**

[うち気温影響+226百万m<sup>3</sup>, +1.5%の増加]

<b>■ 家庭用</b>	+127百万m <sup>3</sup> (+3.8%)
● 気温要因	+152百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	+3百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+51百万m <sup>3</sup>
● その他	▲79百万m <sup>3</sup>

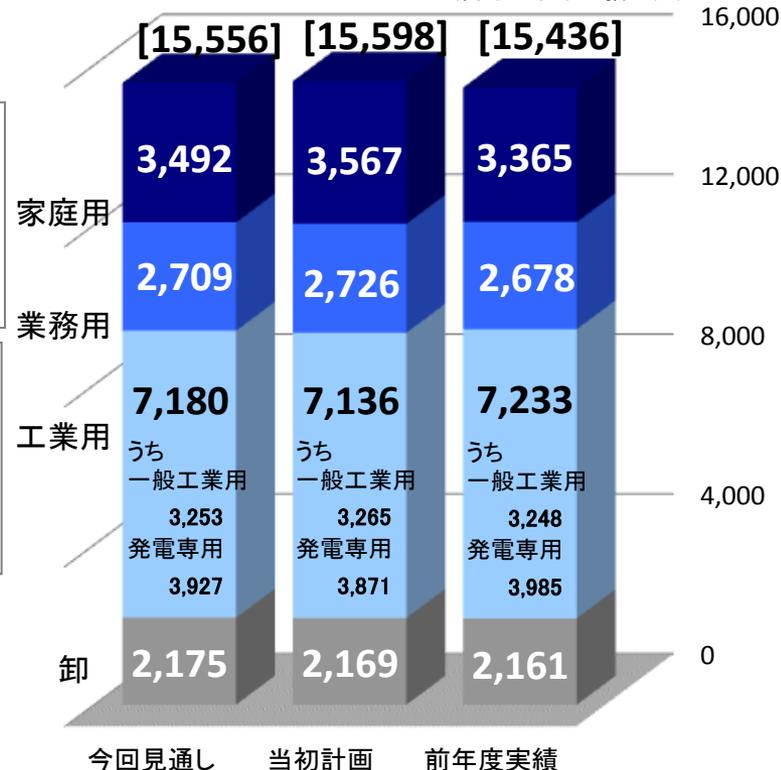
<b>■ 業務用</b>	+31百万m <sup>3</sup> (+1.2%)
● 気温要因	+54百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲2百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+23百万m <sup>3</sup>
● その他	▲44百万m <sup>3</sup>

<b>■ 工業用</b>	▲53百万m <sup>3</sup> (▲0.7%)
● 一般工業用:	+5百万m <sup>3</sup>
● 発電専用:	▲58百万m <sup>3</sup>

<b>■ 卸</b>	+14百万m <sup>3</sup> (+0.7%)
● 気温要因	+20百万m <sup>3</sup>
● その他	▲6百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要減等	

## ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



## お客さま件数(万件)

今回見通し	当初計画	増減
1,153.7	1,153.7	0.0 (0.0%)

	今回見通し	当初計画	増減
LNG液販売量(千t)	1,059	1,058	+1
平均気温(°C)	16.1	15.8	+0.3

●ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	今回 見通し	当初計画	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,556	15,598	▲42	15,436	+120
			▲0.3%		+0.8%
トーリングによる ガス自家使用量	2,053	1,949	+104	1,717	+336
			+5.3%		+19.6%
LNG販売量(m3換算)	1,324	1,323	+1	1,434	▲110
			+0.0%		▲7.7%
合計	18,933	18,870	+63	18,587	+346
			+0.3%		+1.9%

## 2016年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益

〈対当初計画〉



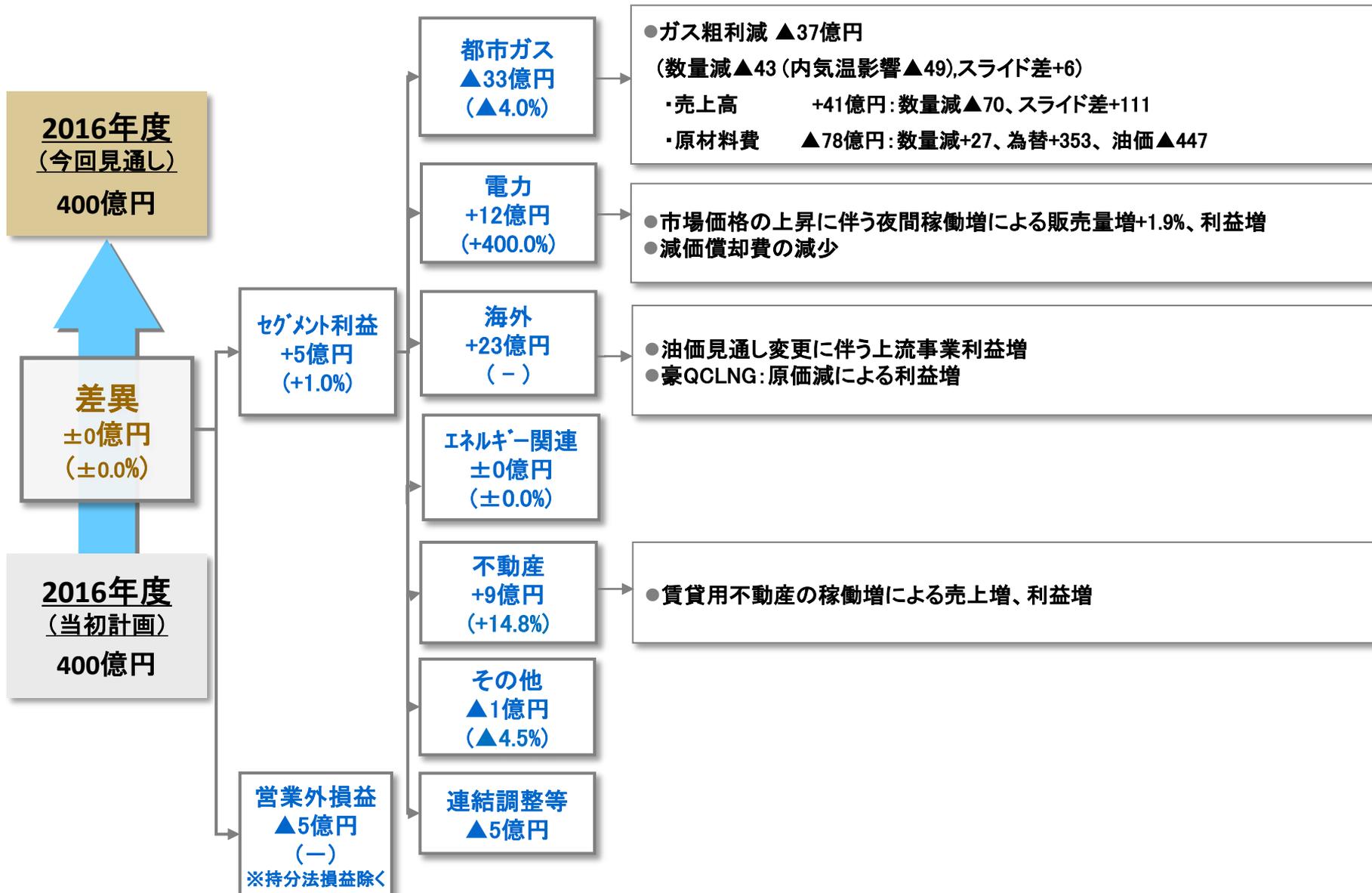
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益+持分法損益)			
	今回見通し	当初計画	増減	%	今回見通し	当初計画	増減	%
都市ガス	10,273	10,228	45	0.4	794	827	▲33	▲4.0
電力	1,388	1,348	40	3.0	15	3	12	400.0
海外	276	304	▲28	▲9.2	23	0	23	—
エネルギー関連	4,641	4,717	▲76	▲1.6	81	81	0	0.0
(エンジニアリングソリューション)	1,112	1,113	▲1	▲0.0	37	37	0	0.0
(LNG販売)	881	815	66	8.1	35	34	1	2.7
不動産	411	401	10	2.5	70	61	9	14.8
その他	864	828	36	4.3	21	22	▲1	▲4.5
調整額	▲1,943	▲2,016	73	—	▲508	▲503	▲5	—
セグメント合計	15,910	15,810	100	0.6	496	491	5	1.0

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

# 2016年度見通し 経常利益分析

〈対当初計画〉



※符号は利益の貢献に対して表示

# 2016年度見通し セグメント別売上高・セグメント利益 <対前年度実績>

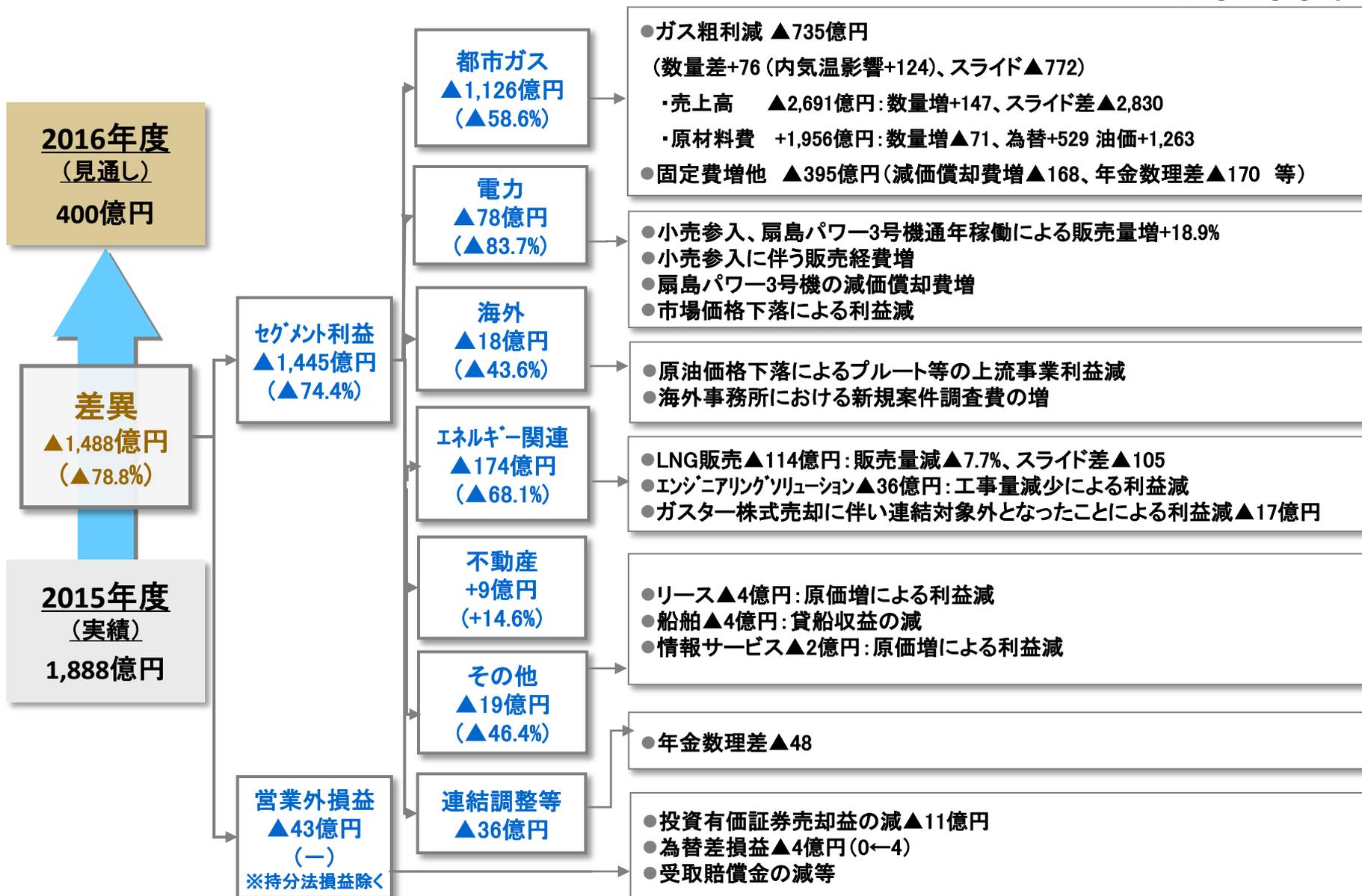
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	10,273	12,946	▲2,673	▲20.7	794	1,920	▲1,126	▲58.6
電力	1,388	1,248	140	11.1	15	93	▲78	▲83.7
海外	276	301	▲25	▲8.6	23	41	▲18	▲43.6
エネルギー関連	4,641	5,504	▲863	▲15.7	81	255	▲174	▲68.1
(エンジニアリングソリューション)	1,112	1,370	▲258	▲18.9	37	73	▲36	▲49.3
(LNG販売)	881	1,243	▲362	▲29.1	35	149	▲114	▲76.4
不動産	411	393	18	4.4	70	61	9	▲14.6
その他	864	802	62	7.6	21	40	▲19	▲46.4
調整額	▲1,943	▲2,351	408	—	▲508	▲472	▲36	—
セグメント合計	15,910	18,846	▲2,936	▲15.6	496	1,941	▲1,445	▲74.4

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
  - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。
  - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

# 2016年度見通し 経常利益分析

<対前年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示。

(単位: 億円)

	2016年度 見通し	2015年度 実績	2014年度 実績
総資産 (a)	21,880	22,515	22,576
自己資本 (b)	10,020	11,002	10,695
自己資本比率 (b)/(a)	45.8%	48.9%	47.4%
有利子負債 (c)	7,800	7,157	7,307
D/E レシオ (c)/(b)	0.78	0.65	0.68
親会社株主に帰属する当期純利益 (d)	350	1,119	958
減価償却 (e)	1,650	1,451	1,418
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,000	2,571	2,376
設備投資 (Capex)	2,480	2,320	2,245
ROA: (d) / (a)	1.6%	5.0%	4.3%
ROE: (d) / (b)	3.3%	10.3%	9.2%
TEP	▲228	676	434
WACC	3.4%	3.4%	3.6%
総分配性向	60%程度	60.1%	60.8%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 ○株主資本 = 時価総額  
 ○WACC算定諸元(2016年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 実績金利1.12%(税引後)  
 ・株主資本コスト率  
 ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.44%  
 ・リスクプレミアム 5.5% β値 0.75

---

### 3. 参考資料

---

## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲2	▲9	+11	0
	第3四半期	—	▲1	▲11	▲12
	第4四半期	—	—	▲3	▲3
	通期	▲2	▲10	▲3	▲15

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲6	+4	+2	0
	第3四半期	—	▲6	+6	0
	第4四半期	—	—	▲8	▲8
	通期	▲6	▲2	0	▲8



### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531